

社会福祉法人みたか福祉会

# 令和4年度 事業報告書

1. 令和4年度のまとめ
2. 法人概要
3. 法人役員等
4. 役員会議等の開催
5. 事業所概要
6. 活動報告

## 1. 令和4年度のまとめ

法人開設より第7期を終えました。また、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るうなかで、利用者に誰一人感染者を出すことなく事業運営をおこなってまいりましたが、昨年11月に初めてグループホーム1ユニットにおいてクラスター感染（入居者7名＋職員8名が陽性判定をうける（うち入居者4名は無症状））が発生。しかしながら、保健所や医療機関との連携、職員の協力体制のおかげで、さらなる感染の拡大に至ることはありませんでした。

引き続き、法人・各事業所において、少しでも感染に対する不安を取り除くとともに、職員はじめ関係者が安心して利用者に関わることができるように、十分な危機管理のもと事業運営を進めてまいります。

また、令和4年度は、各事業部門・職員が、自身の役割を理解し、十分に話し合い、課題にむけて協力し合い、自分のもてる力を相手の助けになるためにどれだけ提供できるか、それを素直に受け止めお互いが気持ちのよい協力体制を作り上げることができるか、を念頭に業務に取り組んできました。そして、期初の計画の重点課題として、下記の3点を挙げさせていただきました。

1. より良いサービスを提供するため、人材の定着化
2. ご利用者・職員・地域の方々に安心していただける健全な経営
3. 事業を安定して維持継続できるための経営基盤づくり

そのなかで事業運営方針として挙げた以下の6項目についてご報告申し上げます。

### ① 人材の確保

職員からの紹介による入職をはじめ、人材育成機関との連携による確保、求人媒体を使用した採用、職員紹介会社の活用、派遣人材の活用など、様々な方面で確保に努め、9名を採用することができた。とくに都社協が行う就労促進事業を活用し介護職員2名を採用することができた。しかしながら、正規職員3名、非常勤職員10名の退職があり、今後の課題と認識している。

### ② 職員の定着

各部門における会議を定着化し、定例的に実施している法人本部の運営会議の内容は、会議開催後すみやかに職員へ伝達できるように体制を整え、職員の事業運営に対する参加意識を高めた。

また、部門管理者が給与改定時のほか必要に応じた個別面談を実施し、意見交換や法人運営方針の共有に努めた。

専門職の採用としては、グループホームに介護スタッフの一員として看護師1名が入職し、事業所内の安全衛生や感染対策にも十分な行動がとることができ、医療職がいることの安心感へとつながった。

### ③ 職員の育成

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、職員が集合した研修は控え、研修の多

くをオンライン研修とし、計画的な研修受講体制を整え実施した。また、介護技術面を強化するため、新たに研修配信先を追加し、職員の介護に対する意識や意欲の向上に努めた。

令和3年度からの継続体制として、入職時の研修を強化し、「ふぁみりあ」の一員として法人理念や事業への取組みを周知徹底するとともに、とくに入職後のOJTは職員の理解度や成長に合わせた支援を行い、職員の不安を取り除くとともに、利用者支援への技能向上につなげることに努めた。

#### ④ 運営体制の整備

昨年同様、グループホームと看護小規模多機能が第三者評価を受審した。グループホームでは評価機関を変更したことにより、事業運営に必要とされる帳票類や運営の在り方などについても教示いただけたため、改めて事業運営を見直す機会となった。フィードバックされた内容について、各部門の定例会議のなかで共有し、事業運営の根拠、サービス提供における基準、書類の整備や記入について、改めて理解を深めた。また、感染症拡大防止に対する職員への意識を高めるため、マニュアルの整備、研修・委員会等による啓発、濃厚接触などが疑われた職員への休職対応などにより感染拡大防止に努めた。

#### ⑤ 認知度の向上

グループホームにおいては、同時期に逝去された方や入院後に退去される方が複数発生し、新規入居が思うように進まず稼働率が70%台まで低下した。これを受けて、集中的に地域包括支援センターはじめ、市内居宅介護事業所への周知を行ない、11月より、セーフティーネットの役割を果たすべく、グループホームで生活保護対象者の受け入れを開始。4月現在、利用者2名の受け入れをおこなっている。その結果3月には満床とすることができた。

看護小規模多機能においては、目標であった20名には一時期届いたが、3月末では19名となっている。しかしながら、訪問看護との連携による利用者の移行により大幅な減少には至らなかった。また、保育については周囲に認可保育園が開園したこと、育児休業法の影響により、0歳児の入園がしばらくなかったが、10月以降になりようやく0歳児の入園がすすんだ。

これらをふまえ、法人の認知度はまだまだ十分とはいえず、対外的なPRは今後も継続する必要があると認識している。

#### ⑥ 財務体制の安定化

グループホームでのクラスター感染の発生や職員のコロナ感染などにより対外的なアプローチが困難な時期もあった。また、新規利用者の見学受入れにも消極的であったため、グループホームの空床解消、看護小規模多機能・保育園への新規受入れ、は十分に行えなかった。そのため、今年度の資金収支差額においては、赤字となってしまったが、就労促進助成金、物価高騰支援補助金、コロナ対応助成金などの助成金を活用したことにより赤字幅は縮小された。

以上の通り、令和4年度を終えて、事業運営ならびに法人運営において、明確な課題が見えてきました。とくに「人材の育成と定着に向けた対策」「事業や法人の認知度の向上」

「法令遵守の教育」「感染症や災害・緊急時の対策」「地域との関係性の強化」など取り組む課題にはどれも共通点があります。すべてに「人」がキーとなっています。このことを理解し、職員同士が一体となって考え、実践する力によって大きな成果が生まれます。財務状況においては、各サービス事業のすべてを黒字化することはできませんでしたが、こちら「人」の力が大きな成果となり黒字化の達成につながります。

相手のために自分にできることは何かを一生懸命に考えて取り組むことができれば、今以上に素晴らしい結果に結びつくと考えます。引き続き職員同士のコミュニケーションを大切に、人間力の強化につなげてゆきたいと考えております。

最後になりますが、令和5年5月8日より感染症類型の変更がありますが、新型コロナウイルス感染症は完全に終息はしておらず、依然として感染時の重症化リスクがなくなったわけではありません。そのため、感染症対策を継続し、安心してご利用いただける事業所を目指してまいります。

理事長 山田義剛

## 2. 法人概要

法人名	社会福祉法人みたか福祉会	
所在地	〒181-0005 東京都三鷹市中原4丁目34番22号	
法人設立日 (認可日)	平成29年1月10日	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症対応型共同生活介護事業</li> <li>・看護小規模多機能型居宅介護事業</li> <li>・訪問看護事業</li> <li>・企業主導型保育事業</li> </ul>	
事業開始日	平成30年3月1日	
職員体制 (2023.3.31現在)	職 種 別	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統括施設長 常勤1名 ※看護職員兼務</li> <li>○グループホーム長 1名 ※介護支援専門員兼務</li> <li>・介護支援専門員 2名(常勤2名) ※2名とも介護職員兼務</li> <li>・介護職員 26名(常勤12名/非常勤14名) ※常勤1名は事務職員兼務</li> <li>・看護職員 8名(常勤1名/非常勤7名)</li> <li>・調理職員 4名(常勤0名/非常勤4名)</li> <li>・事務職員 1名(常勤1名/非常勤0名) <span style="float: right;">合計 43名</span></li> </ul>
	部 門 別	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム 21名(常勤9名/非常勤10名/派遣2名)</li> <li>・ナースケアセンター 20名(常勤8名/非常勤12名)</li> <li>・訪問看護ステーション 9名(ナースケアセンターと兼務)</li> <li>・法人管理課 2名(常勤2名) <span style="float: right;">合計 43名</span></li> <li>(保育園4名:常勤3名+非常勤1名)</li> </ul>

### 3. 法人役員等（五十音順／敬称略）

項目	氏名（主な肩書き／2023.3.31現在）
理事長	山田 義剛
理事	加藤 雅江（杏林大学医学部 健康福祉学科 教授） 酒井 利長（株式会社三鷹利久 代表取締役） 西尾 隆（国際基督教大学教養学部 特任教授） 日向 博（特別養護老人ホームケアコート武蔵野 顧問） 山田 早苗（多世代コミュニティホームふぁみりあ 統括施設長）
監事	酒井 利高（小金井市介護保険運営協議会 副会長） 佐々木信夫（税理士法人マック・ジェイ 代表社員）
評議員	有江 典子（こどもデイサービスらびい 管理者） 香川 卓見（三鷹市大沢地域包括支援センター センター長） 国沢 真弓（一般社団法人発達障がいファミリーサポートMarble 代表） 野村 優子（杏林大学医学部附属病院 小児科医 医師） 星野 和子（三鷹市民生・児童委員協議会 元会長） 松木 隆佳（リベラルアーツ法律事務所 所長 弁護士） 宮崎陽市郎（株式会社ミタカロジスティクス 代表取締役）
評議員 選任・解任委員	酒井 利高（小金井市介護保険運営協議会 副会長） 品川 健（社会福祉法人みたか福祉会 法人管理課 職員） 田中今朝壽（元・介護老人保健施設三鷹中央リハケアセンター 事務長）

### 4. 役員会議等の開催

項目	実施日	内容
理事会	第1回理事会 令和4年6月9日	第1号議案：令和3年度・事業報告 第2号議案：令和3年度・決算報告 第3号議題：個人情報保護規程の改訂 第4号議案：評議員会の開催 報告事項1：監事監査報告 報告事項2：理事長の職務執行状況の報告
	第2回理事会 令和4年9月30日 （書面決議）	第1号議案：令和5年度 保育園運営法人の見直し（選定）
	第3回理事会 令和4年11月18日 （書面決議）	第1号議題：令和5年度 保育園運営法人の選定案
	第4回理事会 令和5年3月16日	第1号議案：令和4年度・最終補正予算（案） 第2号議案：令和5年度・事業計画（案） 第3号議案：令和5年度・当初収支予算（案） 報告事項1：理事長の職務執行状況の報告

項目	実施日	内容
評議員会	定時評議員会 令和4年6月24日	第1号議案：令和3年度・事業報告 第2号議案：令和3年度・決算報告 第3号議題：個人情報保護規程の改訂 報告事項1：監事監査報告 報告事項2：理事長の職務執行状況の報告

項目	実施日	監事名	監査項目
監事監査	令和4年5月25日	酒井利高 佐々木信夫	法人定款第11条第1項の規定に基づき、平成30年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

## 5. 事業所概要

事業所名	定員
グループホームふぁみりあ	利用定員 18名（1ユニット9名）
ナースケアセンターふぁみりあ	登録定員 29名（1日の利用定員：通所 15名／宿泊 5名）
訪問看護ステーションふぁみりあ	利用定員 定数なし
ふぁみりあ保育園	利用定員 11名（0歳＝3名／1歳＝4名／2歳＝4名）

## 6. 活動報告

月	内容	月	内容
4月	電気設備年次点検／消防設備点検	10月	保育＋GH＋NCハロウィーン
5月		11月	
6月	エレベーター年次点検	12月	NCクリスマス／GH・NC第三者評価
7月		1月	GHお正月／NC新春会
8月		2月	NC節分
9月	GH・NC敬老会	3月	GHお花見

※各事業所の事業報告は、別紙「事業報告書」を参照

GH：グループホーム／NC：ナースケアセンター

◇新型コロナウイルス対策

- ・新型コロナワクチン接種（4回目 & 5回目）
- ・抗原検査キット導入による随時検査
- ・感染対策補助金の申請
- ・濃厚接触が疑われた職員の休業補償の申請
- ・研修 & 会合へのオンライン参加

◇法人運営に関すること

- ・保育園運営法人の見直し
- ・個人情報保護規程の改訂
- ・育児・介護 休業規程の改訂（産後パパ育児休暇）
- ・給与規程の改訂（時間外割増賃金改訂等）

◇法人内での会議

- ・月2回：運営会議および危機管理会議
- ・偶数月：GH & NC 運営推進会議（書面開催）

◇法人内での研修

- ・事業ごとオンライン動画を利用した各種研修（年間計画にもとづく）
- ・防災に関する研修
  - 7月：消防訓練（全体）災害用伝言板「web171」体験利用
  - 12月：消防訓練（看多機）東京消防庁の動画視聴

◇法人外での会合・研修

- ・GH看小多機連絡会4・7・10・1月（すべて書面開催）
- ・ケアネット・しんなか（地域住民団体）の会合参加
- ・ケア専門職交流会（地域包括支援センター主催）の研修参加
- ・三鷹市事業者連絡協議会の研修参加

◇求人活動・広報活動

- ・ハローワークへ求人票掲載
- ・求人サービスのウェブサイトへ求人票掲載
- ・東京都の介護職員就業促進事業を利用した職員確保
- ・人材紹介会社へのアプローチ
- ・フェイスブックで入居者さんたちの活動紹介

◇地域交流室の貸出状況

※新型コロナウイルス感染対策のため外部利用なし

以上